

ふるさと納税 有限会社楽天地から企業版ふるさと納税寄附をいただきました

有限会社楽天地から、令和発祥の都太宰府「梅」プロジェクトに賛同いただき、企業版ふるさと納税として寄附をいただきました。同社は創業47年を迎え、創業当時よりメニューの醤油もつ鍋を守り抜き、変わらぬ味で多くの人から親しまれています。本市のふるさと納税返礼品としても提供しています。いただいた寄附は、梅プロジェクトの更なる発展のため大切に活用します。



寄附金贈呈式の様子

令和発祥の都太宰府「梅」プロジェクト



「市長と課長の『梅』製品合同試食会」を開催しました

令和の都だざいふ応援大使でお笑いタレントの高田課長さんを総合MCに迎え、「梅」プロジェクト製品の合同試食会を12月6日(水)に開催しました。

梅が上品に香る「梅バスクチーズケーキ」、梅風味の佃煮「うめのり」、3つの味の「太宰府梅ジュース」、優しい味わいの調味料「梅五勝」、新作発表された「ポテトチップス合格する梅はちみつうめ味」などを高田課長と楠田市長が試食試飲し、さまざまな可能性を持つ梅製品の魅力をPRしました。あわせて、新たな製品開発に向け梅の活用者を募集しています。産業振興課まで問い合わせてください。



開発者に製品の魅力を尋ねる様子



合同試食会の参加者

「ポテトチップス合格する梅」新作発表会・寄附金贈呈式を開催しました

カルビー株式会社と福岡農業高等学校によるポテトチップス合格する梅シリーズの新作「はちみつうめ味」の発表会を12月4日(月)に行いました。同校の梅研究班香月暁さんは「今回の味は癒しがテーマです。受験勉強の合間に食べてリフレッシュしてまた頑張ってください」と話しました。昨年度の同シリーズ売上金の一部を、カルビー株式会社から市に寄附していただきました。本プロジェクトの更なる躍進に活用します。



今回の新作を手にする発表会参加者

令和の都だざいふ 太宰府市公認デザイン甘酒を街頭配布しました

令和発祥の都PRキャラクターがデザインされた森永製菓の「甘酒 九州・沖縄限定デザイン」がリニューアルし、プロモーションを兼ねて西鉄太宰府駅で無料配布しました。

本年で3年連続のコラボレーションとなった今回は、旅人のたびと・れいわ姫・おとものタビットと縁起物のだるまと招き猫をパッケージにあしらひ、開運祈願をこめています。

森永製菓株式会社の島田正也九州支店長と楠田市長から市民や観光客へ直接手渡し、受け取った人からは「飲みやすくておいしい」と好評でした。



甘酒を配布する様子

私のだざいふ

太宰府市副市長

はらぐち のぶゆき
原口 信行



正月を迎え、家族が集まると、必ず話題に上る話があります。雪の四王寺山に登った時のことです。

長男が小学校高学年、長女が低学年の冬の朝、窓の外はうっすらと雪景色、私は子ども達に四王寺山に登る提案をしました。

彼らは山を見るなりすぐその気になり、お菓子とお茶のペットボトルを持って、坂本から登り始めました。

樹冠に覆われた山道の積雪は少なく、時より木の枝についた雪が落ちる程度で、長女はドングリを拾いながら登っていきました。

頂上につき、往路を引き返すつもりでしたが、何を考えたか、岩屋城跡経由で太宰府天満宮まで行こう!ということになりました。

気温は低く空気は澄んでおり、途中で出会う「石仏」に頭を下げながら楽しく歩きました。帰りに参道でうどんを食べ、満足して帰途につきました。

ところが、その夜からが大変でした。長女がインフルエンザで発熱し、その後長男、私、妻と次々に感染し、持病で山に行けなかった妻から「無理するからよ!」と小言を言われました。

今では良い思い出です。

市政ニュース

居場所と出番づくり

大人の塗り絵コンクール太宰府市長賞授賞式を開催しました

明治安田生命保険相互会社主催の第3回大人の塗り絵コンクールが行われ、太宰府市長賞授与式を11月10日(金)に開催しました。

本市と包括連携協定を結んでいる同社では、健康維持・改善に向けた取り組みを応援する「みんなの健活プロジェクト」の一環で、認知症の発症予防効果が高いとされる塗り絵を活用した本コンクールを開催しています。本市では、この取り組みを通じて介護予防を推進し、高齢者が元気に住み慣れた地域で暮らし続けることができる居場所と出番づくりを目指しています。

また、同社からは、地域社会に元気をお届けする「地元の元気プロジェクト」の一環である「私の地元応援募金」として寄附をいただきました。これまでもコロナ禍の対策事業に対しても多大なる支援をいただきました。



前列左から
受賞者の平原さん、隈本さん、石井さん



寄附金贈呈式の様子

Contents

目次

2024年1月号

特集

新型コロナウイルスワクチンの接種について…………… 7

食べつと通信

待望の中学完全給食スタート!
…………… 8~9

12月議会市長提案理由説明
…………… 10~11

市からのお知らせ…………… 12~15

連載…………… 16~27

なんでも情報コーナー…………… 28~35

太宰府の文化財…………… 36

文化財の保存・活用

観世音寺宝蔵が本市初の国登録有形文化財に

11月24日(金)、観世音寺宝蔵を国の登録有形文化財に登録するよう文化庁文化審議会から文部科学大臣へ
答申がありました。官報告示をもって正式に登録される予定です。登録となれば本市で初の事例です。

観世音寺宝蔵は昭和34年に建設された鉄筋コンクリート造りの文化財収蔵施設で、平安時代から鎌倉時代に制作された16体の重要文化財の仏像など、観世音寺の宝物が収められています。境内の雰囲気に合わせた外観、防湿・防熱の対策などの工夫が随所に見られ、造形の規範と評価されました。



観世音寺宝蔵



内部の様子は
市ホームページ360°
パノラマビューでも
公開中

健康づくりの推進

チヨダ地域保健推進賞を受賞しました

本市の元気づくり課の保健師と管理栄養士が取り組む「手作り!わくわく健康ミュージアムDaza」の活動
(P19で紹介)が、チヨダ地域保健推進賞を受賞しました。この賞は、地域保健の推進に顕著な成果をあげた活動に対して、一般財団法人千代田健康開発事業団が授与しています。

受賞した活動は、食品に含まれる塩分量を手作りのサンプルを見ながら知ることができる展示を中心に、楽しみながら健康づくりを考えてもらえるように企画しました。今後も、市民の皆さんの健康づくりをサポートできるように取り組んでいきます。



元気づくり課職員と保健センターに掲示している受賞作品の一部

まちのトピックス

友好都市交流

太宰府市・多賀城市の中学生が交流しました

太宰府市・多賀城市中学生交流事業「ふるさと・夢プロジェクト」で、本市の市立中学校の3年生から選ばれた代表者が「ふるさと大使」として、友好都市・多賀城市を10月4日(水)～6日(金)に訪問しました。参加者は、現地の中学生と交流し、史跡見学などを通して学んだことを各校の全校生徒の前で報告します。

また、10月26日(木)～28日(土)には、友好都市・多賀城市の中学生在本市を訪れ、両市の親睦を深めました。



両市の史跡を見学する生徒たち(左写真：多賀城跡、右写真：大宰府政庁跡)

安心安全のまちづくり

福岡県交通安全県民大会で表彰されました

第39回福岡県交通安全県民大会が11月10日(金)に行われ、交通安全功労者の優良団体として太宰府市立国分小学校児童見守りボランティアが、個人として交通安全指導員の松田忠美さんと小畑信彦さんが表彰されました。登下校時、子どもたちを交通事故や犯罪から守るための見守り活動が評価されました。

同大会では、福岡県交通安全推進市区町村として本市も優秀賞を受賞しました。昨年度の最優秀賞に続く受賞で、今後も安心安全のまちづくりを進めていきます。



太宰府市立国分小学校児童見守りボランティアの皆さん



左から松田さん、小畑さん